

疾患に理解を深める



さまざまな疾患の治療法などについて理解を深める地域住民ら＝笠松町田代、松波総合病院

松波病院で市民講座 予防法なども学ぶ

笠松町田代の松波総合病院で、「第21回市民公開講座」（岐阜新聞社、岐阜放送など後援）が開かれ、地域住民ら約60人がさまざまな疾患について学んだ。身近な疾患について理解を深めてもらうとともに、予防などへの意識を高めてもらうことと開いた。

同病院長代理の鶴見寿さんによる「こころまで変わったHIV/AIDS診療」と題した講演もあった。

（玉田健太）

岐阜新聞 2018.8.21

笠松中生、3D内視鏡など見学



松波総合病院（笠松町田代）主催のメディカルセミナーが19日、同町弥生町の笠松中学校で開かれた。2年生約200人が、医療機器の操作体験などを通して病院のさまざまな仕事を体験した。

キャリア教育の一環で、同校で4年前から毎年実施している。同院の花立史香医師は、病院では医師や看護師だけでなく超音波技師や栄養士などさまざまな人が働いていることを紹介。この後、生徒はグループに分かれ、実際の手術で使う3D内視鏡や超音波メスなどの医療機器を紹介するブースを巡った。

同病院長代理の鶴見寿さんによる「こころまで変わったHIV/AIDS診療」と題した講演もあった。

同病院長代理の鶴見寿さんによる「こころまで変わったHIV/AIDS診療」と題した講演もあった。

（龍山大樹）

岐阜新聞 2018.8.21

臨床研修の育成環境優秀

評価機関 松波病院エクセレント賞

笠松町の松波総合病院に、目とそれだけで8割以上最優秀を挙げた病院に贈られる研究医の育成環境が優れているとして、東京都のNPO法人「卒後臨床研修準備機構」（JCEP）が同病院にエクセレント賞を贈った。県内の病院では初の受賞。

同賞はJCEPが二〇一七年度に創設。病院の理念や研修プログラム、修了後の進路など八つの基準を訪問調査で評価し、二十七個の数が多くに加えて、専門的な教育の前に幅広い診療



表彰状を手にする松波病院長と村山センター長＝笠松町の松波総合病院で

療科で土台の教育をしっかりと語った。松波和寿病院長は「若い医師を育てることは最重要課題と位置付けている。受賞を機に、より充実した医師教育に取り組みしていきたい」と話した。（長崎寛大）

中日新聞 2018.8.30

岐阜高島屋に「産婦人科」

松波総合病院が出張相談



お産後のアロママッサージを体験する買い物客＝岐阜市日ノ出町、岐阜高島屋

総合病院の産婦人科スタッフが育児や出産の相談に応じるイベント「出張！まつなみ産婦人科」が24日、岐阜市日ノ出町の岐阜高島屋であった。

松波総合病院（羽島郡笠松町田代）主催。会場には四つのブースが設けられ、助産師が妊娠中に飲用できる薬や、切迫流早産について相談に乗ったほか、

医療事務の職員が自然分娩と帝王切開でそれぞれ医療費がどのくらいかかるのか説明した。

ハンドアロマセラピの民間資格を持つスタッフが出産後4、5日の入院女性に行うアロママッサージの体験コーナーもあり買い物客が効果を体感した。

同病院の担当者は「近年は親や周囲の人に頼れず、孤立して子育てしている人も多い。イベントを通して、相談できる助産師とつながりができれば」と話した。

（大賀由貴子）

岐阜新聞 2018.9.25

男性が臨月の妊婦体感

岐阜 出産に関する相談イベント



出産に関する相談などができるイベント「出張！まつなみ産婦人科」が、岐阜市日ノ出町の岐阜高島屋で開かれた。

笠松町の松波総合病院から助産師や、妊婦のマッサージを担当するアロマセラピストなど九人が参加。会場には、出産費用や悩みを相談するブースのほか、ハンドアロマセラピーを実際

約3kgの重りをつけて臨月の妊婦の大変さを体験する参加者24日、岐阜市の岐阜高島屋で

に体験できるコーナーを設けた。

妊婦体験コーナーでは、約3kgの重りを腹部に取り付け、臨月の妊婦を体感した。参加した会社員の酒井雅貴さん（30）は「実際にやってみると足元が見えず、視界が狭くなってしまつ」と感想を話した。（藤矢大輝）

中日新聞 2018.9.25

教えて ホムドクター

特に女性に多い訴えに脚のむくみがあります。医学的には浮腫と言います。血液の流れが滞り、皮下に水分がたまった状態が浮腫です。

一時的で徐々に治る場合には病的なものはないのですが、むくんだまま治らない場合は問題です。両脚がむくんでいる場合と、片方の脚だけがむくんでいる場合は、考えられる病気が異なります。両脚の場合には良性的薬剤性、あるいは特発性浮腫、ほとんどが女性でストレスや生理と関連し、心不全、腎臓病、肝臓病などの危険な内臓疾患が原因の場合があります。強い息切れや呼吸困難感、おぼろげに寝ると苦しいなどの症状がある場合は、急いで医療機関を受診していただく。



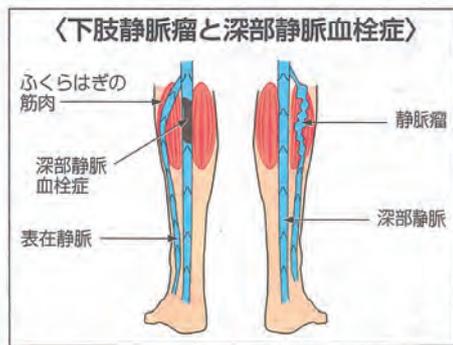
上野勝己氏

循環器内科

脚のむくみ

つくりと流れていきます。なので静脈には脈がありません。心臓より上の静脈の血液は重力で自然に心臓に戻っていきますが、心臓より下では逆に心臓に戻っていくのです。そのため脚の静脈には逆流防止弁が付いています。下肢の静脈は表面には表在静脈があり、筋肉の中を走る深部静脈に流れ込んでいきます。この弁があるので静脈内の血液が順次心臓に送られていきます。これを筋肉ポンプといい、第一の心臓とも呼ばれています。

不足や肥満も原因となりま
す。見た目が悪いため、心配
して受診する患者が多いの
ですが、重症の場合は別に
して命に関わることはあ
りません。日帰り手術であ
りませぬ。治療もできま
す。しかし、手術してしま
い、静脈の流れている場所
が、重症の場合は別に
して命に関わる病気に
なる場合があります。静脈
の中に急に血の塊がど
ろどろと詰ると、皮膚の
色が赤くなり、腫れあが
ります。熱感もあ
り、ふくらはぎに痛みが
あ



下肢静脈瘤などの疑い

足首、ふくらはぎ動かし予防を

出でます。
この血栓がはがれて肺に
飛んで詰ると肺血栓症
を起し、重症の場合は
ショック状態から死に至
ります。慢性化すると脚が
だるくなる、むくみ返り
を繰り返す、皮膚の色沈
着、難治性の皮膚潰瘍が
できたりします。また肺に
小さな血栓が飛び続け、肺
機能が低下して肺高血圧症
となると、呼吸困難の原因
となります。診断には下肢
静脈エコーが有用です。
静脈内の血流が悪くな
る、静脈内圧の上昇で壁に
傷が付く、血液が固まりや
すくなるの3つの要因が重
なって血栓ができるので
す。長時間動かない、脱水
が問題で、手術後に長期床
に、長時間の飛行機旅行
が危険因子となります。肥
満や家族歴があると、この
病気になるやすくなります。
普段から歩いて筋肉ポン
プを動かす習慣をつけ
る、同じ姿勢を続けない、
座っているとき足首やふく
らはぎを動かすことが予防に
なります。
(松波総合病院心臓疾患
センター長 羽島部笠松町
田代)

岐阜新聞 2018.10.8

「フットケア」取り組む心血管外科医 熊田 佳孝さん(54) = 笠松町



透析患者の治療に携わる中で「足」を見ることの重要性を感じ、日本フットケア学会の立ち上げに尽力。初代理事長を務めた。「足のトラブルを早く見つけ、早く治療すれば、多くの足を、命を救える」と力説する。心血管外科医で、心臓・大動脈の手術や末梢血行障害の治療が専門。松波総合病院(笠松町)で心臓血管外科センター長兼心臓血管外科部長を務める。



早期発見・治療の必要性訴え

透析患者、足の動脈硬化である「閉塞性動脈硬化症」を併発する人が少なくないが、初期には気づきにくく、発見が遅れて足の切断を余儀なくされる場合もある。「我々医療者が足を観察して、患者さん自身が気づかない足のトラブルに気づいてケアする必要がある」と話す。重症化した患者の選択肢を増やすことにも心を砕く。近年、透析患者の冠動脈血行再建術で、冠動脈バイパス術とカテーテル治療のどちらが生存率が高いか、という研究に取り組む。冠動脈バイパス術の方が生存率が高いとする説が一般的だったが、カテーテルの進化で二つに有意な差がないという研究成果をまとめた。この研究成果は、2016年の欧州心臓病学会で「ベストポスター」という賞を受けた。「二つの方法を選択肢として持っていて、患者さんの状況に合わせていかに安全に治療をしていくかが大切だ」と力を込めた。(山野拓郎)

朝日新聞 2018.10.8

教えて ホムドクター

今年開催された第15回産科・婦人科・ペリナリティックと前後して、女性アスリートの月経対策を特集した報道番組がありました。一般人でも月経時には、さまざまな体の不調を感じます。まして五輪・パラリンピック級のアスリートが、競技と月経とが重なること、成績に大きな影響が出ることは容易に想像できます。

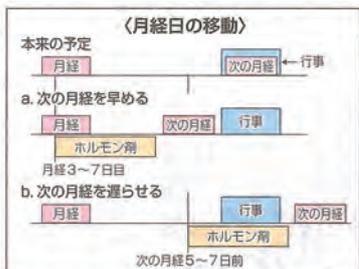
しかし「試合と重ならないように月経をずらす」とか「月経痛を抑える薬を飲む」とかの対策をしているアスリート選手は4人に1人、五輪選手では半数です。最高のコンディションを作り出すために、さまざまな最新科学の支援を受けているトップアスリートすら、月経日をずらせることを知らないのです。今回は月経日の移動を考えて



産婦人科 今井篤志氏

月経日の移動

月経時にはどんな煩わしい症状があるのでしょうか？
下腹部痛、腰痛、おなかの張り、吐き気、頭痛、疲労感、食欲低下、いらいら、下痢、気分落ち込みの順に多くみられます。月経の初日から3日目にかけて出血が多い時に強くなります。キリキリと締め付けられるような痛みが、周期的に起ります。また、月経が始まる前1週間くらいは、いらいらしたり、不安やうつ状態になる月経前症候群（2013年8月26日付本欄参照）に悩む女性も少なくありません。



月経日の移動には、次の月経を早める方法と、遅らせる方法があります。月経を早める場合には、月経が始まる3~7日前から3日間の女性ホルモン（エストロゲン、プロゲステロン）を組み合わせたホルモン剤を飲み始めます。10~14日間以上飲み、中止するところから5日後に通常の月経が少量の出血が始まる方法です。月経を遅らせるには、月経が始まる1日にホルモン剤を飲む必要がないという利点がありますが、ホルモンの種類、服用時間、個人差により、つづいてまいかない事があります。

月経を遅らせる場合は、月経が始まって7日目から少量のホルモン剤を服用し続けます。4~6週間続けて服用し、月経を遅らせます。服用するホルモンの量が少ないのですが、服用中に少量の不規則な出血を来す事があります。最も確実な方法として

ホルモン剤の服用で可能

大切な日に痛みなど回避

月経開始予定の5~7日前までにホルモン剤を飲み始め、月経を遅らせる方法があります。図bの方法は、月経を遅らせるのは、月経開始予定の5~7日前までにホルモン剤を飲み始める方法です。この方法は月経開始が順調で、次回月経が予定より女性向きです。欠点は非閉経後にホルモン剤を服用するので、妊娠の可能性に注意しなければなりません。重篤な副作用として、静脈血栓症がありますが、妊娠中の血栓発症頻度よりも格段に低いと考えられています。妊娠中は、内服するホルモン剤よりもはるかに多量のホルモンが胎盤から産生され、血栓発生の危険性が高まるからです。

一般の女性でも、結婚式や旅行、入学試験、大切な仕事など、こころの重なる行事が月経や月経前症候群と重なるのは避けたいものです。保険診療は適用されず自費での治療になりますが、婦人科医の知恵を借ってください。松波総合病院腫瘍内分泌センター長、羽島郁恵松野田氏

岐阜新聞 2018.10.29

医人伝

松波総合病院入退院センター（岐阜県笠松町）

副センター長 松浦 郁恵さん（38）



入院患者の在宅療養への移行を支援する松浦郁恵さん

在宅療養への移行支援

つなぎ、住み慣れた地域で支えられる体制をつくる。富田の産地として知られる岐阜県大野町出身。「人の役に立つ仕事が出来たら」と看護師を志した。松波総合病院は看護師になつて最初の勤務先で集中治療室（ICU）や外科、内科など十五年以上にわたりさまざまな部署を経験。昨年四月に同センターに配属された。

患者と家族、医師と職員が一致し、同居や介護に同意できた場合はスムーズに在宅療養に移行できる。だが、核家族や共働き家庭が増え、家族の協力が得られないケースも少なくない。それでも、粘り強く、家族や施設などと交渉、少しでも在宅を望む患者の思いがかなえられるよう奔走する。

「高齢者ホームを院外のままままな施設と調整する。医療は病院だけで完結するのではなく、地域に連携があるのがいい。同センターで入院の業務を取り切り、在宅への移行を進めることで、病棟の看護師の負担軽減や長期の入院患者の減少にもつながっている。

在宅療養を進めるため、今年に入り、同院を含めた岐阜地域の医療機関で「TOPネットワーク（環岐阜地区医療介護情報共有協議会）」も発足。患者の病名や処方薬、採血結果などの情報を地域の医療機関が共有するシステムで、実現すれば、退院への期間が大幅に短縮する」とが期待できるという。「入院を希望しない人が、できるだけ早く帰宅できる社会になれば」

（長崎高次）

中日新聞 2018.12.11

松波病院が新棟建設

来年8月 歯科 口腔外科を新設

松波総合病院（羽島市郡笠松町田代）を運営する社会医療法人蘇西厚生会（松波英寿理事長）は集中治療室（ICU）などを備える同病院北館の機能拡張のため、同館に接続するエクステンション棟と立体駐車場を建設する。来年8月の供用開始を予定し、利便性の向上と高度化する医療への対応を図る。

松波総合病院エクステンション棟と立体駐車場の完成予想図。右端は病院北館



階は北館の内視鏡センターを拡張し、検査や一部治療を行えるX線テレビを増設。3階には北館のICUのカーンファレンスルームや器材庫などを移設する。同様に隣接する立体駐車場は屋上を含む2層3段で延べ床面積2750坪で、167台を収容する。事業費は合わせて約7億円。

同様に隣接する立体駐車場は屋上を含む2層3段で延べ床面積2750坪で、167台を収容する。事業費は合わせて約7億円。

工事が向けて地鎮祭が13日に行われ、病院や工事の関係者ら約50

人が出席。松波理事長は「利便性を高めるだけでなく、他の病院や国、自治体との広い連携が必要となる中で、当法人が重い責任を負っていくための一歩」と意義を強調した。（亀山大樹）

岐阜新聞 2018.12.14



今から34年前、40歳ぐらゐの男性が頭痛で来院し、血圧が200mmHg以上もありました。パン屋をオープンしたばかりでした。降圧剤を1日4回、6時間おきに飲んでほしい血圧は下がりました。多忙と経営のストレスを強く断って、下がりませんでした。1週間後、脳出血でなくなりました。過剰なストレスによる若い人の高血圧状態は少なくありません。心臓病が再発した働き盛りの患者さんがいました。毎日夜遅くまで残業していたため、心臓の状態から一時的に残業を制限する必要がありました。血圧も高

ストレスと生活習慣病

残業で緊張、血圧上昇



循環器内科 上野勝己氏

く、糖尿病もかなりひどい状態。仕事の過緊張から脈拍が速くなっていました。原因が改善されないうま、脈拍を抑えるβブロッカーが処方されています。βブロッカーが要因と考えられる冠動脈狭窄による狭心症も出現してしまいました。会社の理解があり仕事は定時までとし、βブロッカーも中止しました。残業は消えなくなりました。安静時の狭心症も出なくなりました。さらに1カ月たつと血圧も下がりました。

も下がり、糖尿病のコントロールも良好になっていました。多忙な生活は、知らぬ間に食べ過ぎていて味もよく分からなくなつたとのことで、ストレスをコントロールすることで、自律神経のバランスが回復したと考えられます。

私たちの体は自律神経に拍が速くなつていました。外敵からの危険に備えて身を守る交感神経と、安全な時に消化吸収や組織の修復、免疫などをかざす副交感神経と。交感神経が緊張すると、脈拍と心臓の収縮力が増大し、末梢血管も収縮して血圧が上昇します。瞳孔は開き、気管支が拡張し、呼吸も速くなります。血圧だけでなく、糖尿病の発症や悪化の可能性が出てきます。

交感神経がつかさどる消化や吸収、免疫力は低下します。仕事のプレゼンや長時間労働での緊張は、交感神経のスイッチを入れ、一時的な血圧上昇を起します。繰り返されると持続的な交感神経の緊張状態となり血圧が上昇してきます。交感神経が緊張すると、副腎からのホルモンが増え、コレストロール値や血糖値も上昇します。これに対して副交感神経を高めるのはリラックスや適度な運動、満腹感などです。仕事で忙殺されている場合、過食してしまつていたり、気付けなくなつていたり、生活習慣や働き方を見直し、血圧だけでなく、糖尿病の発症や悪化の可能性が出てきます。

働き方などの原因改善を

ナイジェリアの1996年の調査では、45歳以上の成人（平均60歳）の平均血圧は141/72mmHg。生活環境の違いによる高血圧患者の割合は、田舎の農民で14%、都市に出た貧困層で25%、都市での鉄道従業員で26%でした。社会的ストレスと血圧上昇の関連性が示されています。

米国は昨年、高血圧症を130/80mmHg以上とし、45歳以上の6割が当てはまることになりました。しかし、健康の人は、薬ではなく生活習慣の改善を強く勧められています。血圧は文明社会のストレスを示すバロメーターです。血圧が高めと言われたら、生活習慣や働き方を見直し、血圧だけでなく、糖尿病の発症や悪化の可能性が出てきます。

（松波総合病院心臓疾患センター長 羽島郡笠松町 田代）

岐阜新聞 2018.12.24

「住民の医療データを地域で共有するネットワークを構築しました。」

総務省の補助金を受け、岐阜地区8市町の医師会などで構築する環岐阜地区医療介護情報共有協議会が、本年1月から運用を開始します。インターネットのクラウドサービスを利用し、医療機関や介護事業所が患者の医療データを共有します。コンピュータをクラウドにつなぐだけで住民の情報を閲覧でき、送ることが可能です。電子カルテを導入する必要もありません。薬局や介護事業者と情報を共有して連携



社会医療法人 松波総合病院
蘇西厚生会



理事長 松波 英寿氏

することで、住民に対してより適切な対応ができます。

共有情報の内容は、

利便性を高めるため、画像データなどを省き、共有する診療情報はあえて

情報の共有、蓄積をさらに拡大

病名、検体検査結果、処方箋の三つに限定しました。情報の共有と蓄積ができれば、医療機関は検査の重複を減らし、医療費を削減できます。病状の経過を踏まえて診断でき、住民が自分で

健康状態や治療の経緯を管理できるため主治医以外の医師にも相談しやすくなります。現在は約100施設、2万人の住民データが登録されており、県外からの患者も対象にしていきたいです。

「医療機器の開発にも精力的です。当法人の研究所である「まつなみリサーチパーク」が、在宅医療患者の脈拍データをリストバンド型医療機器で24時間発信し、医師らが急変時のアラートや患者の呼び出しに迅速に対応する「いつでもウォッチ®」を開発しました。県内や関東圏の一部医療機関などで昨年8月から運用しています。リアルタイムで主治医のパソコンや患者家族の携帯電話にデータが発信されます。異常値や脈拍数の変化が検知されたり、患者が呼び出しボタンを押せば音声が鳴り、消防署や訪問看護ステーションなどに対応を要請する仕組みで、医療従事者にとっても安心につながる取り組みだと思えます。



概要

〒501-6062 羽島郡笠松町阿田代185-1
TEL.058-388-0111

沿革 1902年/岐阜市加納に松波病院を開設
1933年/笠松町に松波外科医院を開設
2014年/7月北館(NORTH WING)開館
2015年/4月病床数501床の総合病院となる

従業員数 1,250人

事業内容 理事長/松波 英寿(社会医療法人 蘇西厚生会)
松波総合病院 病院長/松波 和寿
まつなみ健康増進クリニック クリニック長/花立 史香
介護老人保健施設 施設長/岩井 知彦
まつなみリサーチパーク 所長/林 慎

<http://www.matsunami-hsp.or.jp>

治験や臨床研究で4病院協定

署名した協定書を手にする4病院の代表者ら＝岐阜市の岐阜大医学部で



岐阜医療圏地域コンソーシアム

岐阜大医学部付属病院と県総合医療センター、岐阜市民病院の岐阜市内三病院と、笠松町の松波総合病院が三十日、治験や臨床研究での連携を強める「岐阜医療圏地域コンソーシアム」

の協定を結んだ。

同様の協定は各地にあるが、急性期医療を担う病院だけで集まったのは全国で初めてという。四病院の一般病床数を合わせると二千を超える。治験や臨床研究

のデータを集積しやすくして、新薬や新機器の素早い提供につなげていく。医薬品や医療機器に関する情報交換、人材育成などでも連携を深める。

岐阜大医学部で締結式があり、各病院の代表者が出席した。岐阜大医学部付属病院の吉田和弘病院長は「医療のレベルアップや、より地域に密着した医療を提供したい」と意気込んでいる。

(高橋貴仁)

中日新聞 2019.1.31

「岐大」など4病院参加

岐阜医療圏地域コンソーシアム発足

岐阜大医学部付属病院(岐阜市)など、岐阜市とその周辺地域で急性期医療を担う4病院は30日、「岐阜医療圏地域コンソーシアム」を設立した。同日、4病院のトップが出席して協定書の締結式と記者会見を行った。規模のメリットを生かした治験や臨床研究を行うほか、人材育成などでも協力する。

(岐阜・笹口健太)

治験や人材育成で協力

協定を締結した4病院 各務原市や羽島市、本巣市は、岐大病院(614床) 山県市などからなるエリアのほか岐阜県総合医療センター(岐阜市、604床)、コンソーシアム設立の最大狙いは、4病院の協力による規模のメリットを生かした治験や臨床研究の体制整備だ。中国などでは2

岐阜医療圏地域コンソーシアム 協定締結式



協定書に署名する4病院のトップ

千〜三千の病床を有する大病院も多く、「同じ治験を行うだけでも、あつという間に結果が出る。日本の大病院の病床数では太刀打ちできない」(松波総合病院の松波英寿理事長)。そこで、4病院で2千を超える病床の入院患者や地域住民らに治験などに協力してもらうことで、スムーズな症例収集につなげる。

人材の育成や確保という狙いもあり、専門医育成に関する研修などで連携する。岐大病院の吉田和弘病院長は「こうした全体的にも先進的な取り組みを行うことにより、岐阜出身の医師が戻ってくることも期待している」と話す。大規模な病院が治験や臨床研究のために連携する例は他にもあるが、急性期病院のみでの連携は全国初という。また4病院をはじめ、岐阜医療圏の多くの医療機関は、岐阜大学を中核として人材的な結びつきが深い。こうした一体感の強さを生かし、「本コンソーシアムを、全国的なモデルケースとして成功させたい」(吉田病院長) 考えた。

岐阜地域4病院が連携

岐阜大病院など 治験や研修 共同で

岐阜大付属病院(岐阜市)と県総合医療センター(同)、岐阜市民病院、社会医療法人蘇西厚生会・松波総合病院(笠松町)は、治験や医師研修などで協力する「岐阜医療圏地域コンソーシアム(共同事業体)」を設立した。岐阜地域で急性期医療に取り組む4病院が連携し、良質で高度な医療を効率的に提供できる体制の確保を目指す。

4病院は、県が2016年7月にまとめた地域医療構想に基づき、岐阜圏地域医療連携推進研究会を設



協定書を手にする(左から)吉田病院長、松波理事長、富田病院長、滝谷理事長

置し、連携について議論してきた。1月30日にコンソーシアムに関する協定書を

締結。今後、治験・臨床研究や医療従事者の研修を共同で行うほか、医薬品や医療機器の情報共有し、「一つの大きな病院」となる。事務局は岐阜大病院内に置く。

蘇西厚生会の松波英寿理事長は「中国などでは、3000床規模の病院はたくさんある。病床が多いほどデータは取りやすいため、製薬会社は中国の医療機関に治験を依頼することが多くなってきた」と指摘する。

4病院を合計すると病床

数は2000を超える。岐阜大病院の吉田和弘病院長は「まずは情報共有から始め、共同で治験を行うことで、県民に最先端の医療を提供したい」と述べた。

東海地方で、同じ機能を持つ複数の病院が連携するのは初めてといい、県総合医療センターの滝谷博志理事長は「病院同士が連携しなければ、中国や韓国の医療機関に対抗できない。国のモデルケースになれば」と意気込んだ。

コンソーシアムは、県内全域の基幹病院に拡大していくことも想定しているという。岐阜市民病院の富田栄一病院長は「今回の連携は一つのステップに過ぎない。ここでもっとうまく運営して、更なる上を目指したい」と拡大に意欲を見せた。

読売新聞 2019.2.1



心臓には刺激導管と呼ばれる電気回路が走り回っていて、心臓の四つの部屋を順番に電気刺激して効率的に血液を送り出しています。この電気回路が十分に電気信号を出せなくなる機能不全症候群、心房と心室の間の電気回路が切れてしまう房室ブロックは、脈拍が1分間に

教えて ホムドクター

不整脈、心不全治療にも

進化するペースメーカー

重ねられ、小型化して薄くなる
心室内伝導障害が起る

30回、40回がなくなり、心臓から全身への血流十分に送られなくなります。そうすると、ふらつきや失神などの脳血流低下症状、息切れ、呼吸困難、胸のむくみなどの心不全症状が現れ、放置すれば死に至ります。

この電気回路の病気の治療の切り札がペースメーカーで、タンケースで覆われた本体と、細いリードと呼ばれる導線から出来ています。本体にはリチウム電池と小さなコンピュータが内蔵され、心臓の電気回路の状態を絶えず観察し、必要に応じてリードから心臓に電気刺激を送り、体に必要な脈拍を確保しています。どんどん改良が重ねられ、小型化して薄くなる



循環器内科医 上野勝己氏

り、電池寿命も10年持つようになり、年間6万人の患者に植え込まれています。

近年ペースメーカーの活躍の場は、これら脈が遅くなる病気の他に、心房細動などの突然死を予防する速くなる病気の治療にも使われています。現在、慢性心不全患者は120万人いて、2030年には130万人に増える予想されています。病状が悪化すれば、心不全ペースメーカーが起ると恐れられています。

心不全患者の中でも重症例の30〜50%に、心室内伝導障害という病気が合併していて、予後が不良となる原因となっています。

1930年代に初めて開発された約90年、心臓ペースメーカーはどんどん進歩してきました。最近では、心臓の拍動を利用して発電する電池交換不要のペースメーカーの開発が始まっています。

（松波総合病院心臓疾患センター 長 羽島都彦 松野田代）

循環器内科医 上野勝己氏

と、心室の内側と外側で収縮のタイミングがずれ、心室が全体としてうまく収縮できなくなり、心不全が悪化します。そこで、通常は心室の内側に1本入れるペースメーカーのリードを、もう1本外側にも入れてタイミング良く刺激することで、心不全治療するペースメーカーが開発されています。心室内伝導障害のある70%の患者に有効です（心臓同期療法ペースメーカー、両室ペースメーカー）。

さらには、心不全の治療にも応用されています。現在、慢性心不全患者は120万人いて、2030年には130万人に増える予想されています。病状が悪化すれば、心不全ペースメーカーが起ると恐れられています。

心不全患者の中でも重症例の30〜50%に、心室内伝導障害という病気が合併していて、予後が不良となる原因となっています。

1930年代に初めて開発された約90年、心臓ペースメーカーはどんどん進歩してきました。最近では、心臓の拍動を利用して発電する電池交換不要のペースメーカーの開発が始まっています。

（松波総合病院心臓疾患センター 長 羽島都彦 松野田代）

岐阜新聞 2019.2.25

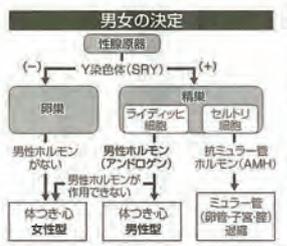
教えて ホムドクター

オキヤと生まれた時の男女比は105前後です。女児100人に対して105人の男児が生まれる計算です。この出生男女比は厚生労働省が調査を始めて以来、大きな変化がありません。幼少時の男児の死亡率が高く、成人ではほぼ1対1になります。不思議に感じたとはいえ、思えば、今頃は結婚して授かった子が、どのようにして男、女に決まるのかを考えてみましょう。

母親からの卵と父親からの精子が合体した受精卵は、40週間かけて胎児に成長していきます。男として生れるか、女として生れるかは、染色体が重要な役割を持っています。トトの染色体は46本あり、そのうち2本は性染色体と呼ばれ、男ではXY、女はXXを本持っています。X染色体は両者に認められ、Y染色体の存在が鍵なのです。

男女の決定

「男性ホルモン作用」が鍵



妊娠5〜6週ごろになると、胎児のおなかの中に性腺原巣ができてきます。特別な力が働かないと、性腺原巣は自動的に卵巣になります。Y染色体に組み込まれているSRY遺伝子が性腺原巣（性腺原巣）に作用すると精巣になります。AMHも分泌されないのが、性腺原巣は卵巣になります。AMHも分泌されないのが、性腺原巣は卵巣になります。AMHも分泌されないのが、性腺原巣は卵巣になります。



産婦人科医 今井篤志氏

ります。図1。精巣のライイチ細胞からは男性ホルモン（アンドロゲン）が分泌され、妊娠9〜20週にかけて精巣周囲の環境を整えながら、体外の陰嚢・陰茎を形成していきます。しかも、精巣のセトリ細胞からは抗ミューラー管ホルモン（AMH）が分泌され、卵管・子宮、膈に成育する身を縮小させます。Y染色体がない場合は、SRY遺伝子が存在しないため、性腺原巣は卵巣になります。AMHも分泌されないのが、性腺原巣は卵巣になります。AMHも分泌されないのが、性腺原巣は卵巣になります。

性同一性障害とも深く関わり

岐阜新聞 2019.3.25